



下松市の推進構想

- 地域連携教育の「成果」と「課題」
 - <成果> 児童生徒の学校運営協議会や熟議等への参画による教職員、関係者の意識向上
 - <課題> コミュニティ・スクールと地域学校協働活動等との取組の一体的な推進
- 課題解決に向けた重点取組事項
 - 児童生徒、教職員、地域・保護者が当事者意識をもって主体的に参画する取組の充実
 - 小中9年間を通じた「学校・地域連携カリキュラム」に基づいた実践
 - 地域学校協働活動及び市長部局、高等学校等と連携した持続可能な取組の推進
- 重点取組事項の進捗を測る指標
 - 年度当初、年度末の学校アンケート実施による取組の成果・課題の検証
 - 学校訪問による管理職及び担当者ミーティングによる各学校の取組の進捗状況の把握

下松市地域連携教育フォーラム（8月4日 スターピアくだまつ）
～教職員、学校運営協議会委員等が地域連携教育の成果を共有～



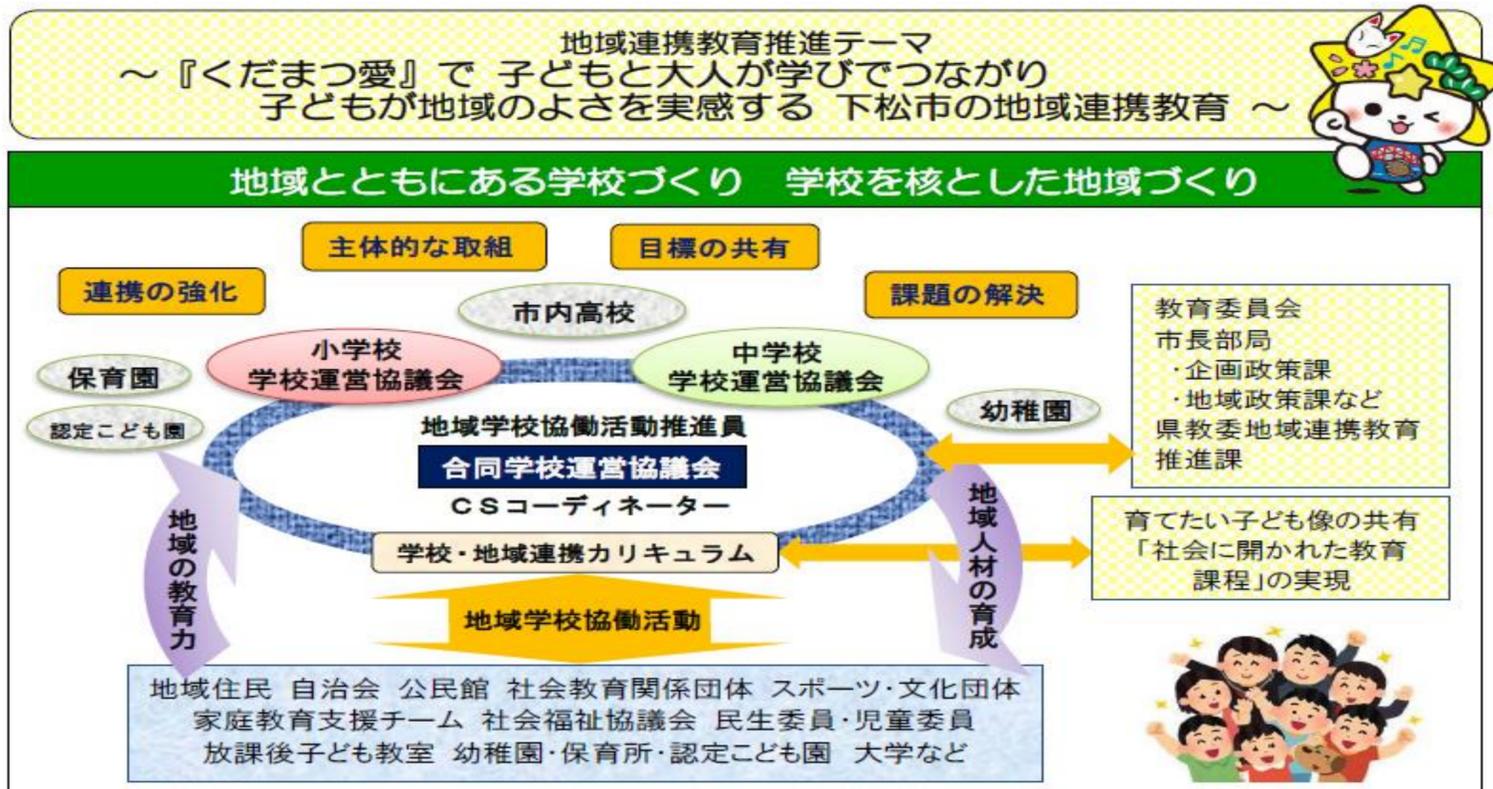
児童生徒による実践発表



地域関係者による実践発表

「私たちの地域への思い」と題し、小中高等学校の児童生徒が、学校と地域が連携した取組を発表。

地域関係者が、自然豊かな笠戸島を舞台にした中学生の体験研修の成果を発表。



意見交流会

地域学校協働活動推進員と会場の参加者が、地域連携教育についての意見を交流。



講演

木本アドバイザーによる「未来を共に創る これからの学校と地域」と題した講演。